

尾野寛明さん

合同会社エコカレッジ
有限会社エコカレッジ 代表

過疎地を 先進地にする、 古本屋の社長

エコカレッジの代表・尾野寛明さんには、二つの顔がある。

一つ目の顔は、大学生の時に東京ではじめた古本屋の社長。

その古本屋がきっかけになり、もう一つの顔ができた。

それは、地域を支えるサポーターづくり。

高齢化、人口減少を逆手にとって、

若者も老人も障害者もいっしょに地域をつくる。

「間接民主主義」を補う

「直接民主主義」の新しい形かも知れない。

過疎の先進地・島根を日本の先進地にする、

尾野さんの生き方を追った。



編集部=文
text by KOTONONE
河野 豊=写真
photograph by Yutaka Kohno

視覚障害の石原直樹さん。窓の光が入らないようにカーテンで遮蔽して、黙々と本のシミや汚れのチェックに励む